

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p>＜研究課題名＞</p> <p>子宮頸がんの進展過程における HPV 持続感染と宿主免疫応答の関係</p>
<p>＜研究機関・研究責任者名＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 病理診断科 (研究責任者) 増田しのぶ</p>
<p>＜研究期間＞</p> <p>承認日 ~ 西暦 2021 年 3 月 31 日</p>
<p>＜研究の目的と意義＞</p> <p>子宮頸がんの発生には、ヒトパピローマウイルス (HPV : Human Papillomavirus) の感染が関連していることが知られています。HPV 感染そのものはまれではなく、感染しても、多くの場合、症状のないうちに HPV が排除されると考えられています。ですが、HPV が排除されず感染が続くと、一部の患者さんに子宮頸がんの前がん病変や子宮頸がんが発生すると考えられています。この研究では、前がん病変の段階での HPV 感染の有無と、患者さん側の HPV に対する免疫反応の状態を調べて、がん化との関係を見出すことを目的としています。</p>
<p>＜利用する試料・情報の項目＞</p> <p>生検や手術で採取された病理組織検体</p>
<p>＜対象となる患者さん＞</p> <p>2000 年 1 月 ~ 2017 年 12 月までに、婦人科で子宮頸がんの検査、子宮頸がんの治療を受けられた方</p>
<p>＜研究の方法＞</p> <p>病理組織を染色して HPV の感染の有無と患者さんの免疫細胞の状態を調べます。経過との関係を調べますので、カルテに記載されている、患者さんの年齢、性別、喫煙歴、診断名、治療の内容などのデータを使用させていただきますが、匿名化された情報を使用します。この研究のために、新たな検査を行ったり、費用のご負担が発生することはありません。また、これらの結果は、統計処理を行って集計しますので、患者さんのお名前や個人情報が明らかになることはありませんのでご安心ください。</p> <p>本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。</p>
<p>＜お問い合わせ窓口＞</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1)</p> <p>病理診断科 氏名: 増田しのぶ</p> <p>電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 3984 (PHS) 8380</p>